

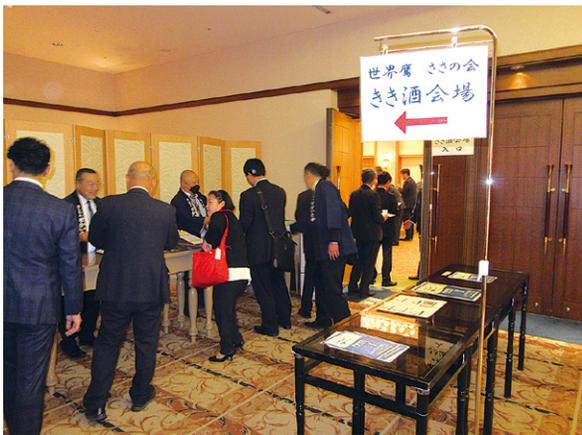


第18回「世界鷹 ささの会」^{盛会}

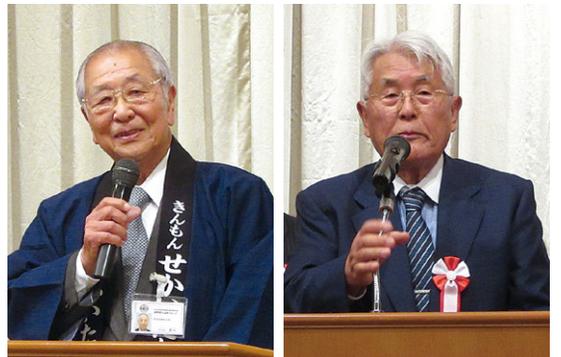
「日本酒好き、関係者約320名来場

小山本家酒造は10日、第18回「世界鷹 ささの会」を地酒を楽しむ会をさいたま市で開催した。小山本家酒造を中核とする「世界鷹 小山家グループ」が全国5社7工場で醸し出す清酒を提供。埼玉県に縁のある世話人が経済界などから集まり、「日本酒好き」関係者約320名が来場。コロナ禍による中止をはさんで昨年3年ぶりに再開、昨年を上回るにぎわいとなった。

会に先立ち藤原秀次郎世話人代表（しまむら取締役）は「これだけ多くの日本酒好きの人が集まれるのは喜ばしい。お酒は楽しく、た



くさん飲むのが一番。皆様がお酒を楽しんでいただけるよう、このささの会を盛り上げていきたい」とあいさつし、会場を和ませた。席上、小山景市会長は、世話人や関係者に謝辞を述べ



小山会長

藤原世話人代表

たうえて「毎年この会にこれほど大勢の人が集まってくれて非常にうれしい。酒造業界は、古くは江戸時代から酒税を取ってきた。明治30年代には租税の1/3を占め、現在の金額にして20兆円ほどを納めるほどだったが、業界として多くの規制に縛られる中、現在では1%以下となっている。直近10年間の酒類業界を振り返ってみると、アルコール飲料全体では92%。種類別ではビール類は76%、清酒は68%、焼酎は78%。一方でワイン



やウイスキー、スピリッツ類は伸びた。こうした状況の中、当社は皆様に支えていただき業績を伸ばしている。この会ではいろいろな清酒を飲み比べて楽しんで欲しい」などとあいさつ。

さらに「みどり」と川の再生」に取り組む県内のNPO法人を支援するための基金に「金紋世界鷹」1・8ℓと720ml本につき10円、その他商品は1・8ℓに

HOKO 株式会社 宝幸



【NO-50A】 5,000円(税別)



正田
特撰 大豆醤油
二段熟成

正田醤油株式会社

していることに対し、砂川裕紀副知事から感謝状が

つき2円を寄付、累計で1500万円を超える寄付を

贈られた。
例年開催している「きき酒コンテスト」では、成績優秀者に「世界鷹認定唎酒伝道師」を授与した。今年は今回正解者は出なかったが、大いに会を盛り上げた。また今回は初の試みとして投票と集計に「kizakeアプリ」を採用。今後は選ばれた清酒を購入できるサブスクリプション販売などへの応用も検討している。

（栗原聡）